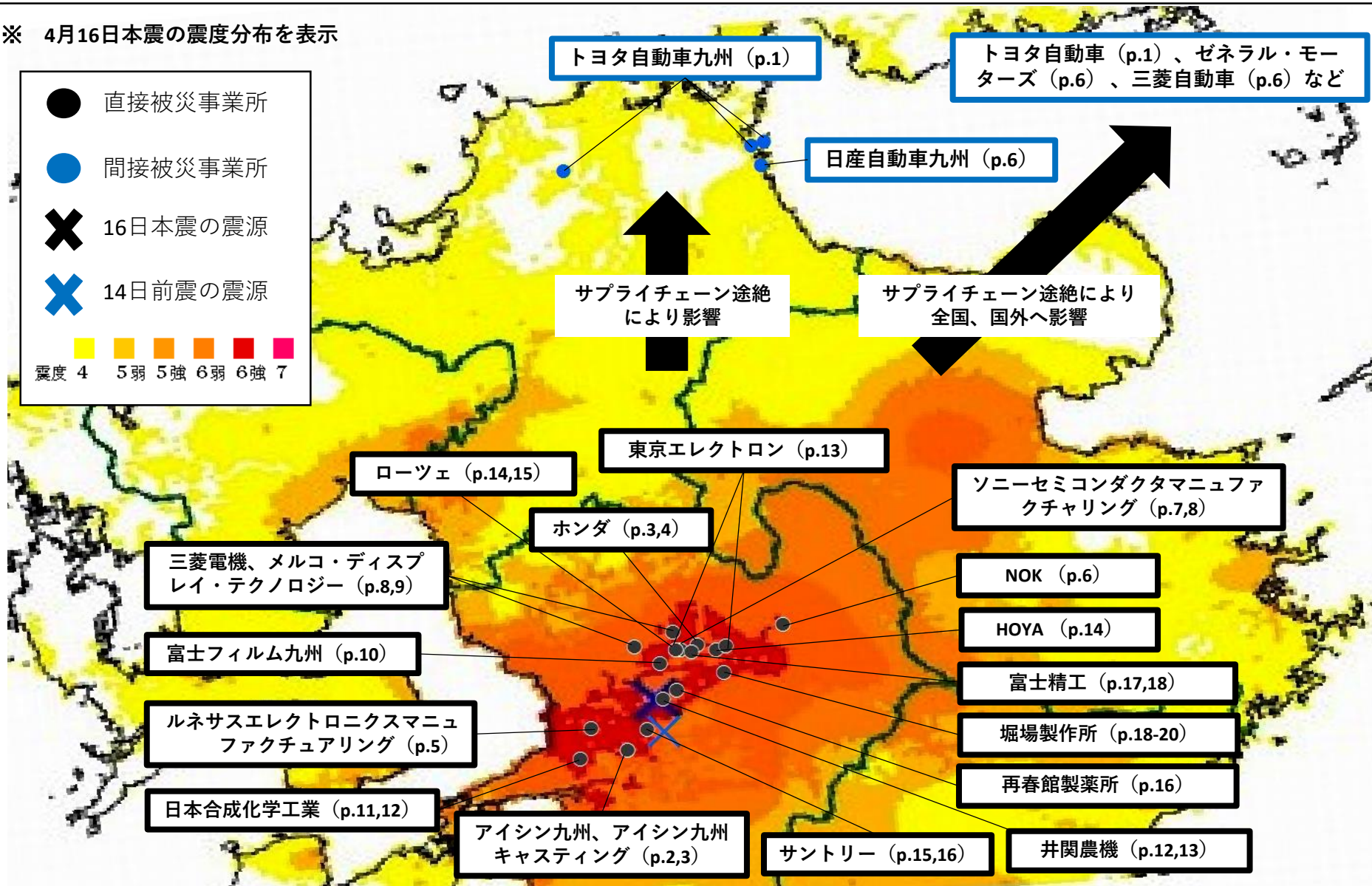


平成28年熊本地震による企業への影響

東北大学災害科学国際研究所 丸谷浩明、寅屋敷哲也

2017年2月24日 0:00現在

※ 4月16日本震の震度分布を表示



平成28年熊本地震等による企業への影響について(企業HP・報道より)

東北大学災害科学国際研究所 人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野
教授 丸谷 浩明 ・ 助教 実屋敷 哲也
2017年2月24日 0:00現在

※平成28年(2016年)熊本地震等による企業等への影響について、企業ホームページからの公表資料(出典:太字)や新聞記事・ニュース記事を引用し、「被害」、「他社への影響・対応・今後の見通し」に分けて整理した。下線部・強調は当研究室がつけたもの。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
1	製造 (自動車関係)	トヨタ自動車	熊本周辺 (部品メーカー)	福岡県、愛知県、宮城県などの工場	トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(6月2日時点)」、6月2日		現状、完全に復旧したわけではないものの、関係者のご尽力により、部品供給の確認もできましたので、 6月6日(月)以降、全ての完成車組み立てラインの稼働を継続すること といたしました。
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(5月11日時点)」、5月11日		5月16日(月)～5月21日(土)の間も引き続き、全ての完成車組み立てラインを稼働させること といたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月28日3:30		1日当たりの国内生産台数 は約1万3000台と 地震前の水準に戻る 。供給が滞った部品を海外工場から機動的に調達するなど「 これまでの備えが一定の機能を果たした 」(トヨタ幹部)
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(4月27日時点)」、4月27日		5月6日(金)～5月14日(土)の間、全ての完成車組み立てラインを稼働させること といたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月26日3:30		トヨタはアイシン精機からの部品供給を受け、25日に堤工場(愛知県豊田市)など完成車4拠点の5ラインを稼働した。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月20日3:30		被災地に近いトヨタ自動車九州(福岡県宮若市)などは28日まで稼働休止の期間を延長する。28日までに休止した26本のラインのうち18本を動かす。 1日当たりの国内生産は地震前の約8割にあたる1万台規模まで回復する見通し 。
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ(4月20日時点)」、4月20日		4月18日(月)～4月23日(土)の間、国内における完成車組み立てラインの稼働を、段階的に停止することを公表しておりましたが、 4月25日(月)以降、段階的に稼働を再開すること といたしました。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月18日3:30		福岡県の拠点が15日から生産を止めたのに続き、愛知県や宮城県などの工場も稼働を見合わせる。20～23日はトヨタ本体のすべての量産ラインを休止する。 全体で5万台程度の生産が減る見通し した。
					トヨタ自動車:「工場稼働に関するお知らせ」、4月17日	トヨタ自動車は、このたびの地震の影響による部品の供給状況等から、 4月18日(月)～4月23日(土)の間、国内における完成車組み立てラインの稼働を、段階的に停止すること といたしました。	
					日本経済新聞電子版 速報企業 2016年4月15日11:16(13:25更新)	自動車の組み立てなどを担う宮田工場(宮若市)の 生産を午前6時から停止 している。 生産設備に被害はないものの、熊本周辺の部品メーカーからの供給が滞っているため という。また同社は15日午後4時から、エンジンを生産する荻田工場(福岡県荻田町)、ハイブリッド車用部品を生産する小倉工場(北九州市小倉南区)についても稼働を停止する。同社の 全3工場が停止 することになる。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
2	製造 (自動車関係)	アイシン精機	熊本県熊本市(2工場)		YOMIURI ONLINE 2016年9月28日		アイシン精機(愛知県)は、4月の熊本地震で被災した子会社のアイシン九州(熊本市)が、 27日までに生産をほぼ全面的に回復した ことを明らかにした。震災から約半年で復旧にこぎつけた。(中略)アイシン精機は熊本地震の影響で、2017年3月期連結決算の営業利益が150億円程度押し下げられると見込んでいる。
					日本経済新聞 朝刊 2016年8月30日		熊本地震や工場の事故で一時混乱に陥ったトヨタ自動車向けの部品供給体制が正常化する。アイシン精機は 29日、地震で稼働を止めていた熊本市の工場で「ドアチェック」の組み立てを4カ月ぶりに再開した。
					日本経済新聞電子版 速報 企業 2016年5月17日 15:19		アイシン精機は17日、熊本地震の影響で稼働を止めている 熊本市内の工場 で 8月にも生産を再開する方針 を明らかにした。生産設備の復旧のメドが立ちつつあるため。九州の仕入れ先や愛知県の自社工場で代替生産しているドアの開閉を制御する部品などについて、 生産をもとの工場に戻す。
					日本経済新聞電子版 速報 企業 2016年5月17日 15:19		アイシン精機は17日、熊本地震の影響で稼働を止めている 熊本市内の工場 で 8月にも生産を再開する方針 を明らかにした。生産設備の復旧のメドが立ちつつあるため。九州の仕入れ先や愛知県の自社工場で代替生産しているドアの開閉を制御する部品などについて、 生産をもとの工場に戻す。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第3報)」、4月28日		アイシン九州株式会社 ・工場内から生産設備、生産金型等を搬出し、愛知県内のアイシン精機とグループ会社の工場や九州地区の協力会社において、4月23日から段階的に代替生産を開始し、 5月2日を日処にほぼ全ての品目の代替生産を開始する予定。 アイシン九州キャスティング株式会社 ・4月27日から段階的に生産を再開し、 4月29日には、全工程で量産品の生産を再開する予定。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第2報)」、4月22日	<アイシン九州株式会社> ・建屋の内の生産用付帯設備(配線、配管など)に被害がでています ・AIK敷地内の変電設備に被害があり、AIKの建屋内に電気の供給が停止中 ・4月19日からクレーンを用い大型設備や生産型の搬出をしています <アイシン九州キャスティング株式会社> ・建屋、設備などに大きな被害はでていません ・破損していた変電設備が 4月20日に復旧し、電源が回復しました。	震災発生後、当社から339名の応援者が、現地での復旧作業にあたっております。 <アイシン九州株式会社> ・現地での生産復旧には時間がかかると判断し、代替生産を中心に進めています。 <アイシン九州キャスティング株式会社> ・電源が回復したため、生産再開に向け準備を進めております。 主に九州地区の協力会社や愛知県内のアイシン精機の工場での代替生産を開始しました。また、製品によってはすでに海外からの輸入により、対応を開始しました。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
2	製造 (自動車関係)	アイシン精機	熊本県熊本市(2工場)		日本経済新聞 朝刊 2016年4月21日3:30		アイシン精機は20日、熊本地震の影響により生産が中断していた子会社アイシン九州(熊本市)の ドア部品を自社の中国やメキシコの拠点から調達する方針 を明らかにした。同子会社の 設備や金型は九州の他社の工場に運び込み、生産再開を目指す 。海外拠点の活用や他社との協力により、トヨタ自動車など取引先への供給能力を早期に回復したい考え。
					アイシン精機:「熊本県熊本地方を震源とする地震の被害に関するお知らせ(第1報)」、4月17日	1. 熊本地方の関連子会社について <アイシン九州株式会社(以下、AIK):熊本県熊本市南区> 事業内容: ボディ部品、エンジン部品、半導体、液晶生産装置などの製造 <アイシン九州キャスティング株式会社(以下、AIKC):熊本県熊本市南区> 事業内容: アルミダイカスト製品の casting・加工 2. 被害状況について ・従業員の安否について: AIK、AIKCの従業員について、4月17日11時時点で、無事を確認しています。 ・事業活動の継続について: 4月14日21時26分頃の地震発生以降、AIK、AIKCでは操業を停止しております。地震発生後、安全を第一とし、AIKとAIKCの全従業員は建屋から避難を行いました。その後、度重なる余震の影響により、建屋内に立ち入っての被害状況の調査が難航しております。	3. 当社の対応について 震災発生後、被災地での人道支援を目的とした水・食料などの物資の搬送に加え、当社から71名(4/17時点)の応援者が現地での復旧活動にあたっています。 また、AIK、AIKCの操業停止に伴う対応として、現地での早期復旧とともに、国内外での代替生産を開始し、お客様への部品供給に全力で取り組んでおります。
3	製造 (自動車関係)	ホンダ	熊本県大津町(熊本製作所)と熊本県宇城市(九州ショーワ)	熊本県大津町(熊本製作所)	本田技研工業:「熊本製作所における生産状況について」、8月24日		Hondaは平成28年熊本地震の影響により、熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の生産について、8月中旬の復旧を目標に全社一丸となって取り組んでまいりましたが、このたび、復旧の準備が整いましたのでお知らせいたします。 震災発生後、熊本製作所の生産については、4月14日夜から一旦休止し、5月6日より海外生産拠点への部品供給を再開。汎用完成機組み立ては5月13日より、被害の大きかった二輪完成車組み立てについては、6月6日より主要機種の組み立てを少量生産で再開し、段階的に生産量を増やしてまいりました。このたび、大型モデルを生産するFUNラインについて生産準備が整ったことにより、8月22日より、ほぼ通常稼働での生産となりました。 また軽自動車の委託生産先である八千代工業株式会社四日市製作所(本社:埼玉県狭山市)においては、弊社熊本製作所にて生産しておりました軽四輪エンジン部品の供給停止のため、4月22日より一部生産を縮小して稼働、通常稼働には半年程要する予定としておりました。現在は、熊本製作所にてこれまで生産していた軽四輪エンジン部品の一部を鈴鹿製作所(三重県鈴鹿市)へ移管し、早期安定供給にむけて生産体制を整えている状況です。
					日本経済新聞 朝刊 2016年6月15日		(前略)熊本製作所では8月10日まで、製作所の2割弱にあたる450人の従業員を三重県や埼玉県の工場に配置するなど、地震の影響がなお続く。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
3	製造 (自動車関係)	ホンダ	熊本県大津町(熊本製作所)と熊本県宇城市(九州ショーワ)	熊本県大津町(熊本製作所)	本田技研工業:「熊本製作所における生産状況について」、6月14日		Hondaは平成28年熊本地震の影響により、熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の生産活動について、 4月14日夜から一旦休止し、5月6日より海外生産拠点向けの部品供給を再開 してまいりました。 このたび、深刻な被害を受けた完成車工場などのガレキの撤去や設備の被害状況の確認を完了し、 6月6日より二輪車の主要機種の組み立てを一部再開 いたしました。まずは少量生産から開始し、 8月中旬の完全復旧に向けて 、設備の状況にあわせて段階的に生産量を増やしてまいります。
					日本経済新聞 朝刊 2016年5月25日		ホンダは熊本地震で被災した 熊本製作所(熊本県大津町)の従業員のうち、2割弱にあたる450人を国内の他の拠点に配置 する。三重県や埼玉県で2～3カ月勤務することで、人員の確保や技術の維持につなげる。二輪の生産拠点の熊本製作所は2600人が働いている。このうち200人を鈴鹿製作所(三重県鈴鹿市)、200人を埼玉製作所の2工場、50人を九州の販売会社順次に順次、配置し始めた。これまでは復旧作業などをしてきた。希望を聞いた上で、国内の拠点で働く場を確保する。熊本県内にある二輪の研究所の社員285人も8月中旬まで、勤務先を変える。本田技術研究所二輪R&Dセンター(埼玉県朝霞市)に設計・開発を担当する技術者を移す。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月29日3:30		ホンダ 熊本製作所 の建屋や製造設備には損傷が残っている。 今回、再開を果たすが、規模はまだ小さい 。ギア部品の製造から始め、その後、二輪車などのラインを再稼働させていく。熊本製作所から部品を仕入れている 八千代工業四日市製作所 (三重県四日市市)は 1日の四輪車生産を170台から48台に減らしている 。通常に戻るには半年かかる見通し。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による生産状況について」、4月28日		熊本製作所の生産を4月28日まで休止してるが、 5月6日より一部稼働を再開 することを決定。熊本製作所の建屋および設備の一部は被害が大きく、 復旧は8月中旬を見込む 。なお、熊本製作所以外の生産拠点の状況については、軽自動車の委託生産先である 八千代工業株式会社 において4月22日より一部生産を縮小して稼働しており、 通常稼働には半年程度を要する見込み 。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月22日3:30		熊本製作所では1日あたり二輪車を750台、発電機などの汎用製品を200台生産している。 現在は在庫分を出荷している 。再開のめどは立っていない。軽自動車をホンダから受託生産する自動車部品メーカーの 八千代工業 は同製作所の操業停止を受け、四日市製作所(三重県四日市市)の一部生産を22日から縮小する。 軽自動車向けエンジンを1日当たり170台生産しているが、22日から120台に減産 する。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による生産状況について」、4月21日		熊本製作所の生産を4月22日まで休止する事としていたが、設備の被害状況などを鑑みて、4月28日まで生産休止を延長することを決定。熊本製作所以外の生産拠点の状況については、軽自動車の委託生産先である八千代工業株式会社において 4月22日より一部生産を縮小して稼働 し、その他の生産工場については通常稼働の予定。
					本田技研工業:「平成28年(2016年)熊本地震の影響による工場稼働について」、4月18日	熊本製作所(熊本県菊池郡大津町)の 生産を4月22日まで休止 する。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
4	製造 (自動車関係)	ルネサスエレクトロニクス	熊本県熊本市(工場)		ルネサスエレクトロニクス: 「業績予想および特別損失の発生に関するお知らせ」、6月7日	平成28年12月期第1四半期の連結業績予想における 熊本地震による影響額 については、生産ラインの稼働停止による機会損失として、 売上高では140億円の減収、営業利益では80億円の減益を見込んでいます。 さらに、 不稼働・低稼働による損失、建物・設備等の固定資産修繕費、たな卸資産の廃棄損 などにより、 80億円の特別損失 を見込んでいます。 当連結業績予想にあたっては、1米ドル110円、1ユーロ124円を前提としております。	
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第8報 最終報)」、5月23日		5月22日を目標に川尻工場を震災前の生産能力(生産着エベース)へ復旧させるとしていましたが、予定通り昨日 22日に復旧を完了 いたしました。
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第7報)」、5月10日		■ルネサス セミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 現在、他工程の生産を段階的に再開していますが、 5月22日に震災前の生産能力(生産着エベース)に復帰させる目標 としました。
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第6報)」、4月20日		■ルネサス セミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 生産再開の目途がつき、 4月22日より一部工程において生産を再開すること としました。 ■サプライチェーン全体での影響 代替生産の検討も開始 し、サプライチェーン全体の早期復旧を目指します。
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第5報)」、4月19日		※内容略
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第4報)」、4月18日		■ルネサス セミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 ・4月16日の本震を受けて再調査を開始していますが、 昨日からクリーンルーム内の安全確認ができ、調査を開始 することができました。
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第3報)」、4月17日	■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 ・従業員は16日の本震後、現在全員の安全を再確認しました。 ・設備の部品に一部破損があり、 16日の本震による被害の拡大が確認 されました。 ■サプライチェーン全体での影響 ・ 16日の本震により、一部の製造委託先において被害の拡大が確認 されました。	
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について(第2報)」、4月16日	※内容略	
					ルネサスエレクトロニクス: 「『熊本地震』による当社事業活動への影響について」、4月15日	■ルネサスセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 川尻工場(熊本県熊本市) 地震発生に伴い速やかに稼働を停止し、現在被災状況を確認中です。また、従業員は全員避難を完了しており、人的被害はありません。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
5	製造 (自動車関係)	NOK		熊本県阿蘇市(工場)	NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ(第3報)」、4月28日	事業場周辺の道路が一部まだ復旧しておらず、従業員の通勤、物資の輸送に支障が出ております。	16日以降供給が滞っていましたが 電力等のインフラが復旧し始めたため 、本日までに ほぼ生産可能な状態 となりました。
					NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ(第2報)」、4月18日	1. 被災地域に所在する拠点 拠点: 熊本事業場、所在地: 熊本県阿蘇市、 主要生産品目: Oリング 2. 人的被害について 18日の段階で当社従業員全員の安全確認が取れております。 3. 被災状況について 建屋や生産設備に大きな損傷はありません。しかし 電力等のインフラが阿蘇地区を中心に供給が滞っており、当社事業場の稼働が停止 しております。また事業場周辺をはじめ熊本県内で、 道路が寸断されており従業員の通勤、物資の輸送に障害 が出ております。今後の復旧につきましては建屋、設備の点検等、できる部分より復旧作業を進めており、通常稼働状態に向けて全社一丸となって取り組んでまいります。	
					NOK:「平成28年熊本地震に関するお知らせ」、4月18日	シール製品を生産しております当社熊本地区の 工場等のインフラ、および周辺道路の寸断により稼働を停止 しております。なお当社従業員にしましては、本日の時点で全員の安否確認が取れております。現在当社危機管理室を中心に、工場の設備の点検等を行い、被害状況を確認しております。	
6	製造 (自動車関係)	ゼネラル・モーターズ(米)	熊本県内の部品工場	米テネシー州・カナダなど(4工場)	日本経済新聞 朝刊 2016年4月23日3:30	米ゼネラル・モーターズ(GM)は22日、熊本地震の影響で 部品の供給が滞った として、米テネシー州やカナダなど北米4工場について 25日から2週間、操業を停止 すると発表した。	GMの広報担当者は日本経済新聞社の取材に対し「どの会社のどの部品かはコメントできない」と話した。工場はこのほかオハイオ州とカンザス州にあり、「ビュイック」や「シボレー」ブランドなどの車をつくっている。同社は影響を受ける台数も明らかにしていないが、「北米での年間生産計画には影響を与えない」(広報)という。
7	製造 (自動車関係)	三菱自動車	熊本県内の部品工場	岡山県倉敷市	NHK NEWS WEB 4月19日22時40分	部品メーカーからの調達に滞りとして、岡山県倉敷市の工場 で18日の夜間から20日まで軽自動車の生産を停止 する。	
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月16日3:30	同社は水島製作所(岡山県倉敷市)で、 18～19日の稼働を一部取りやめる 。熊本県内の取引先工場が被災し、部品の調達が止まる見通しのためだ。	
8	製造 (自動車関係)	日産自動車	熊本県熊本市	福岡県苅田町	日刊工業新聞電子版 2016年4月20日		日産は日産自動車九州(福岡県苅田町)で18日から操業を再開した。現状はアイシン九州製部品の在庫を使うか、 熊本地震による調達の影響が少ない車種だけを生産することで対応 しているとみられる。
					日産自動車:「平成28年熊本地震の被害に対する支援について」、4月19日		日産自動車九州は、生産設備および部品供給の確認のため16日(土)の休日出勤を取りやめましたが、 18日(月)より生産を再開 しました。
					ニュースイッチ 2016年4月18日	16日も稼働を予定していたが、部品調達の影響で休止 。	同社の子会社日産自動車九州(福岡県苅田町)は 15日に平常通り稼働 した。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
9	製造 (電機・機械関係)	ソニー	熊本県菊陽町(工場)	長崎県、大分県の半導体工場	日本経済新聞 朝刊 2016年10月17日		ソニーはデジタルカメラやスマートフォン(スマホ)向けの画像センサーの出荷量を、今期計画より3千枚(300ミリウエハー換算)増の7万3千枚に引き上げた。主力の熊本工場(熊本県菊陽町)が4月の熊本地震で被災して一時生産停止したため、再稼働に伴いカメラ向けの供給量を急ピッチで取り戻す。自社グループ工場は既にフル稼働状態で、このほど出荷ペースでも回復した。現在のソニーの画像センサーの月間生産能力は、外部委託先を含めて8万5000枚。地震前、今期の生産計画は月産7万枚を予定していた。しかし地震による熊本工場の稼働停止を経て、現在の生産体制は外部委託先も含めて7万3000枚に引き上げ、このほど出荷ペースも同水準になった。自社工場はフル稼働状態が続いている。熊本工場は画像センサーの主力拠点で、主にデジカメや監視カメラ向けを生産している。4月16日の本震の震源地から約20キロメートルと近く、建屋が損傷するなどして稼働を停止していた。7月末には全面的に復旧した。地震前は熊本工場でも スマホ向け製品 も一部生産していたが、 復旧の際に長崎工場(長崎県諫早市)と山形工場(山形県鶴岡市)に移管 した。デジカメ向けの高性能な画像センサーは熊本工場の設備が必要なため、現在熊本工場ではデジカメや監視カメラ向けに絞り、3000枚を増産している。ソニーは15年に約1500億円を投じ、今年9月には月間生産能力を15年比3割増の8万7000枚に増やす計画だったが、スマホの成長減速や地震に伴う一部移管など生産品目の振り分けで、8万5000枚に減った。
					ソニー:「熊本県熊本地方の地震の影響について」、9月1日		2016年8月31日19時46分、9月1日6時33分頃に発生した熊本県熊本地方の地震(以下、本件地震)の影響につき、以下お知らせいたします。ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社熊本テクノロジーセンター(熊本県菊池郡)は、(中略)本件地震発生により、生産装置の点検のため生産活動を一時停止しました。建屋や生産装置の被害はありません。現在、順次生産装置の立ち上げ作業を実施しており、 生産活動の復旧は、2016年9月3日午前中を見込んでいます 。 また、同社長崎テクノロジーセンター(長崎県諫早市)、大分テクノロジーセンター(大分県大分市)、鹿児島テクノロジーセンター(鹿児島県霧島市)につきましては、影響はなく稼働しています。
					毎日新聞 西部朝刊 2016年5月25日		ソニーは24日、熊本地震により、2017年3月期連結決算の営業利益に約1150億円の悪影響が出るとの見通しを発表した。熊本県菊陽町にある半導体工場の復旧費用や、部品調達の遅れによるカメラ事業の売り上げ減少などが響く。5月に入って段階的に稼働を再開したが、 フル生産に戻るのには10月までかかる見込み だ。電子部品事業全体では、売り上げの減少や復旧費用などで 約600億円のマイナスを見込む 。カメラ事業では、熊本の半導体工場の稼働停止による部品調達の遅れで、デジタルカメラやプロジェクターの生産に影響が出たため、 約450億円の悪影響が生じる 。その他の事業への影響は軽微とした。 菊陽町の工場で手掛けていたスマートフォン向け部品の開発や生産からは撤退 することを明らかにした。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
9	製造 (電機・機械関係)	ソニー	熊本県菊陽町(工場)	長崎県、大分県の半導体工場	ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について(第4報)」、5月13日		・ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社熊本テクノロジーセンター(熊本県菊池郡)は、高層階に位置する、 後工程の一部である測定工程 については、 5月9日より段階的に稼働を再開しており、組立工程など他の工程については、5月17日より順次稼働を開始する見込み です。 ・同テクノロジーセンターの低層階に位置する ウェーハ工程は、2016年5月21日より順次稼働を開始する見込み です。
					ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について(第3報)」、4月28日		・建屋については、 高層階を中心に損傷が確認 されたため、補強工事を実施します。 ・同テクノロジーセンターの 低層階に位置するウェーハ工程 を設置したクリーンルーム及び生産装置については大きな損傷がないことが確認されたため、生産再開のための準備を開始しました。2016年 5月末を目途に稼働開始する見込み です。 ・同テクノロジーセンターの高層階において行われていた組立や測定などの後工程及びカメラモジュールなどの工程に関しては、クリーンルーム及び生産装置等の損傷が認められており、検証を進めています。 ・同テクノロジーセンターにおけるイメージセンサーなどの 完成品在庫については損傷は限定的であり、既に出荷を開始 しています。半製品、仕掛品の状況については、現在確認中です。
					ソニー:「平成28年(2016年)熊本地震について」、4月18日	ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社 熊本テクノロジーセンター (熊本県菊池郡)は、主にデジタルカメラや監視カメラ向けのイメージセンサー及びディスプレイデバイスなどを生産しておりますが、 地震発生直後より現在まで、生産活動は停止 しています。現在、建屋や生産装置の被害状況は確認中で、余震が続いていることもあり生産再開は未定です。	スマートフォン向けイメージセンサーの主力工場である同社 長崎テクノロジーセンター (長崎県諫早市)及び4月1日より自社工場として稼働開始した 大分テクノロジーセンター (大分県大分市)につきましては、地震発生後、一部の生産装置が一時停止していましたが、 4月17日より順次復旧し、生産を再開 しています。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月17日3:30	菊陽町の半導体工場 は、カメラやスマートフォン(スマホ)に使われる画像センサーの主力工場で、 14日の地震発生以降、操業を休止したまま だ。 長崎県と大分県の半導体工場の一部ラインも16日から停止した。	
10	製造 (電機・機械関係)	三菱電機	熊本県合志市、菊池市(2工場)		三菱電機:「『平成28年熊本地震』の影響に関するお知らせ」6月27日		今回の震災により操業を停止した当社事業所につきまして、今般、震災前の生産能力への復旧を完了しましたのでお知らせいたします。(略) 1. 被災した事業所の状況について (1)パワーデバイス製作所[熊本] (熊本県合志市)5月31日に震災前の生産能力への復旧を完了しました。 (2)液晶事業統括部[メルコ・ディスプレイ・テクノロジー(株)を含む] (熊本県菊池市)6月27日に震災前の生産能力への復旧を完了しました。(以下略)
					三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、6月1日		○パワーデバイス製作所 [熊本] :ウェーハ工程(合志地区)生産能力の早期回復に取り組んでまいりましたが、目標としておりました 昨日5月31日に震災前の生産能力に復帰 いたしました。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
10	製造 (電機・機械関係)	三菱電機	熊本県合志市、菊池市(2工場)		三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、5月11日		○パワーデバイス製作所〔熊本〕:ウエハ工程(合志地区) 5月9日より一部生産を再開いたしました。 現状、大きな障害となる事象は発生していないことから、 5月31日を目標に、震災前の生産能力へ回復させるべく取り組んでまいります。
					三菱電機:「『熊本地震』における当社半導体・デバイス関係 工場の状況について」、5月2日		○パワーデバイス製作所〔熊本〕:ウエハ工程(合志地区) 引き続き、 5月9日に一部生産再開を目指して 活動を展開しております。 ・クリーンルーム: 4月27日に復旧し 、現在稼働中です。 ・生産設備:立ち上げ調整作業を継続しており、現時点で5月9日生産再開を阻害する要因は生じておりません。 ・その他: 一部工程については代替生産も実施 いたします。 ○液晶工場:メルコ・ディスプレイ・テクノロジー(株)(洒水地区) 引き続き、 5月20日に一部生産再開を目指して 活動を展開しております。 ・クリーンルーム: 4月27日に復旧し 、現在稼働中です。 ・生産設備:立ち上げ調整作業を継続しており、現時点で5月20日生産再開を阻害する要因は生じておりません。 ・その他: 一部工程については代替生産も実施 いたします。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月28日3:30		三菱電機も27日、生産停止していた 液晶部品工場(熊本県菊池市) を 5月20日に一部再開する と発表。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月22日3:30		三菱電機は21日、 パワー半導体工場(同県合志市) で 5月9日から一部生産を再開する と明らかにした。
					三菱電機:「『平成28年熊本地震』の影響に関するお知らせ」、4月16日	○パワーデバイス製作所〔熊本〕(熊本県合志市): 4月14日夜から操業を停止 しています。建屋の倒壊はありません。 ○液晶事業統括部〔メルコ・ディスプレイ・テクノロジー(株)を含む〕(熊本県菊池市): 14日夜から操業を停止 しています。建屋の倒壊はありません。	
					TBS系(JNN) 4月15日(金) 3時44分配信	熊本県合志市 にある半導体関連の工場と、 菊池市 にある液晶関連の合わせて 2つの工場の稼働を停止 しました。地震発生当時に工場に働いていた従業員は全員避難したということで、現在のところ、「建物や従業員への被害は確認されていない」ということです。	三菱電機は、工場の再開について、「製造装置の安全確認などを行ってから判断する」としています。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
11	製造 (電機・機械関係)	富士フィルム	熊本県菊陽町(子会社の工場)		富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(最終)」、5月25日		5月22日に全ての生産設備での生産を再開し 、現在も安定に稼働しております。製品出荷についても4月19日より在庫品の品質再確認とともに出荷を再開、復旧後に生産した製品の出荷も順調に拡大し地震発生前の水準に回復いたしました。 在庫品への被害が少なかったことおよび迅速に復旧が進んだことにより、今年度の事業全体への影響は軽微にとどまる見通し です。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第四報)」、5月2日		4月14日より停止していた生産設備は、 4月23日より試運転を開始 致しました。試運転は順調に進んでおり、 一部設備では生産を再開 いたしました。引き続き準備の整ったものから、順次生産を再開してまいります。復旧作業が順調に推移すれば、 5月中には地震発生前の生産水準に回復できる見込み です。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月21日3:30		在庫品への影響は限定的で当面の供給には問題がないとしている。ただ 完全な復旧に時間がかかる場合も想定し、静岡、神奈川両県の工場と同じ製品の生産を増やす準備 も進める。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第三報)」、4月20日		電気などのインフラも徐々に回復し、再稼働に向けた準備を進めています。 今週末には生産設備の試運転が開始できる見込み となり、順次確認を進めてまいります製品出荷については在庫品の確認を進め、 一部確認の済んだものは昨日より出荷を再開 いたしました。
					富士フィルム:「熊本県熊本地方を震源とする地震による当社への影響について(第二報)」、4月18日	・富士フィルム九州株式会社(熊本県菊陽町)においては、地震発生後直ちに災害対策本部を設置し、情報の収集と対応、復旧対策をすすめております。 ・14日の地震発生後から生産を停止し、再稼働に向けた設備等の詳細な確認作業を進めております。 ・製品出荷については、在庫や他工場での代替生産などで影響を最小限に抑えるべく検討を進めております ・交通網の混乱や継続する余震などにより、一部製品で納期遅れなどの影響も懸念されます。	
					富士フィルム:「『平成28年熊本地震』による当社への影響について」、4月15日	現在のところ当社および関連施設におきましては、建屋・設備・従業員などで大きな被害は確認されていません。	
					YOMIURI ONLINE 2016年4月15日3時27分	同社の子会社の工場では、14日午後10時現在、大きな破損は確認されていない。24時間稼働の生産ラインを止めて状況を確認している。この工場は、液晶テレビなどのディスプレイに使われる保護フィルムを製造しており、 世界的に大きなシェア (市場占有率)がある。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
12	製造 (電機・機械関係)	日本合成化学工業	熊本県宇土市(工場)		日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(最終報)」、11月30日		生産再開が遅れていた一部の「 <u>ゴーセノール</u> 」「 <u>ゴーセネックス</u> 」につきましては、 <u>11月下旬より生産を再開いたしました</u> 。これにより、 <u>熊本工場は通常の操業に戻りました</u> 。復旧にあたり、多くの皆様にご支援とご協力いただきましたことに心より感謝を申し上げます。
					日本合成化学:「災害損失の計上に関するお知らせ」、10月27日	平成28年4月14日より断続的に発生した平成28年熊本地震の影響による復旧費用や操業停止期間中の固定資費等の 災害損失額1,644百万円 をその他の営業費用に計上いたしました。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第8報)」、7月28日		「OPLフィルム」 全4系列の生産を再開しました。 「ゴーセノール」「ゴーセネックス」 ①「ゴーセノールZ」は6月2日から生産を再開しました。 ②「ゴーセノールEG」は6月2日から生産しました。 ③「ゴーセネックスL-3266」は 7月13日から生産を再開 しました。 上記以外の「ゴーセノール」「ゴーセネックス」は、復旧に時間を要する為、9月からの生産再開を予定しています。なお、「ゴーセノール」の一部品種は水島工場で応援生産しています。当社は引き続き復旧に全力をつくしてまいります。状況に進展がありましたお知らせいたします。
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第7報)」、6月28日		「OPLフィルム」 整備が完了した系列は、 6月21日から順次生産を開始 しています。なお、一部製品は大垣工場で応援生産をしています。 「ゴーセノール」「ゴーセネックス」 ①「ゴーセネックスZ」は 6月2日から生産 しました。 ②「ゴーセノールEG」は 6月2日から生産 しました。 ③「ゴーセネックスL-3266」は7月中旬から生産を再開する予定です。 上記以外の「ゴーセノール」「ゴーセネックス」は、復旧に時間を要する為、9月以降の生産再開を予定しています。なお、「ゴーセノール」の一部品種は水島工場で応援生産しています。当社は引き続き復旧に全力をつくしてまいります。状況に進展がありましたお知らせいたします。
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第6報)」、5月31日		「OPLフィルム」 現在整備中の生産設備は、整備が完了次第、試運転を行ったうえで 6月中旬から順次生産を再開 します。なお、一部品種は大垣工場で応援生産をしています。 「ゴーセノール」「ゴーセネックス」 ①「ゴーセネックスZ」は 6月上旬から生産を再開 します。 ②「ゴーセノールEG」は 6月上旬から生産を再開 する予定です。 ③「ゴーセネックスL-3266」は 7月中旬から生産を再開 する予定です。 上記以外の「ゴーセノール」「ゴーセネックス」は、復旧に時間を要する為、 9月からの生産再開 を予定しています。 なお、「ゴーセノール」の一部品種は水島工場で応援生産をしています。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
12	製造 (電機・機械関係)	日本合成化学工業	熊本県宇土市(工場)		日本合成化学:「『平成28年度熊本地震』に伴う損失見込み額の発生に関するお知らせ」、5月10日	生産設備の損傷等に伴う操業休止期間中の損失、原状回復費用、棚卸資産の廃棄等による 災害損失は約 24 億円を見込んで おります。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第5報)」、4月28日		・「OPLフィルム」: 製品出荷を既に再開しています。 生産は5月下旬より、順次開始する見通し です。 ・「ゴーセノール」「ゴーセネックス」: 製品出荷は5月から再開する見通し です。 一部の製品の生産は5月下旬より順次開始する見通し です。
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第4報)」、4月25日	4月25日からは関係業者による設備・装置の損傷程度の確認と復旧日数の見積もりを実施 しています。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(第3報)」、4月21日	現在、当社熊本工場は操業を全面停止しております。 4月20日より本格的な被害状況の確認作業を開始 しております。	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について(4月18日現在)」、4月18日	15日時点では熊本工場の建物および生産設備への大きな被害はありませんでしたが、 16日の地震により大きな被害が発生 しています。 ＜被害を受けた拠点と生産品目＞ 日本合成化学工業株式会社 熊本工場(熊本県宇土市) 生産品目: ポリビニルアルコール「ゴーセノール」「ゴーセネックス」 「ニチゴーGポリマー」 光学用フィルム「OPLフィルム」	
					日本合成化学:「平成28年度熊本地震による当社への影響について」、4月15日	4月15日10時45分現在において、同地震による当社(熊本工場)および当社グループでの人的被害、建物の被害、生産設備への大きな被害はございません。	
13	製造 (電機・機械関係)	井関農機	熊本県益城町(製造所)		井関農機:「平成28年熊本地震に伴う災害損失の発生、及び投資有価証券売却益の発生に関するお知らせ」、6月29日	1. 災害損失の発生 平成28年度熊本地震の発生に伴い、当社連結子会社の株式会社井関熊本製造所及び株式会社中セキ九州の本社・熊本支社・一部営業所等が被災しました。これにより、建物及び設備等の復旧費用や製品等の修復費用等により、 11億円程度の災害損失を見込んで おります。	(中略) 3. 今後の見通し 災害損失見込み額11億円程度を特別損失に計上予定であります。投資有価証券売却益などによる特別利益計上が見込まれることから、業績予想については修正しておりません。なお、今後の状況変化などにより業績への影響が見込まれる場合は、必要に応じて速やかにお知らせいたします。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する復旧状況のお知らせ(第4報)」、5月23日		株式会社井関熊本製造所の生産再開について 5月16日より部品加工を開始し、順次工程を再開、本日より全面的に生産を再開 いたしました。生産再開後初めてとなるコンパインが完成し、出荷いたしました。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する復旧状況のお知らせ(第3報)」、5月11日		井関熊本製造所の生産状況については、 5月16日より段階的に生産を再開 してまいります。具体的には、5月16日より部品加工を開始し、 5月23日には全面的な生産再開を予定 しております。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
13	製造 (電機・機械関係)	井関農機	熊本県益城町(製造所)		井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」、4月27日		1)株式会社斗セキ九州 被害箇所の修復作業を進めながら業務を再開しております。 2)井関熊本製造所 現在は、生産を休止しており、 生産再開は5月中旬から順次再開を予定 しております。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」、4月20日		1)株式会社斗セキ九州 被害箇所の修復作業等を進めながらではありますが、 一部業務を再開 しております。 2)株式会社井関熊本製造所について 現時点では、 生産再開には1ヶ月程度 要するものと見込んでおります。
					井関農機:「平成28年熊本地震に関する影響に関するお知らせ」、4月18日	井関熊本製造所については、余震が継続する中で安全を確保しながら被害状況の確認を進めていること等から、 4月20日(水)まで休業 いたします。	
					井関農機:「平成28年熊本地震による被害状況について」、4月15日(12時00分現在)	・井関熊本製造所:本日は臨時で操業を停止しております。建物の倒壊はありませんが、建物・製品・設備等に被災が見られます。 ・斗セキ九州:建物の倒壊はありませんが、建物・製品・設備等に被災が見られます。	
14	製造 (電機・機械関係)	東京エレクトロン	熊本県合志市、大津町(工場)		日本経済新聞 朝刊 2016年7月30日	4月の熊本地震で被災した工場の復旧費用として 特別損失78億円を計上 した。	
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月26日午後7時時点)」、4月26日		大津事業所につきましても、順次、安全確認および設備への影響の確認を行いますが、まずは生産に寄与する 合志事業所の復旧を優先 してすすめてまいります。 合志事業所では、4月25日より工場の一部操業を再開 しております。生産に関しては、現時点で 4週間程度の遅延影響 を見込んでおりますが、ゴールデンウィークを含む休日対応の生産シフトにより可能な限り遅れを取り戻し、 6月末までには通常の生産体制に戻す予定 です。
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月20日午後5時時点)」、4月20日		合志事業所の生産設備等の状況を踏まえ、 4月25日より段階的に生産再開が可能と見込んでおります 。
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(4月18日午後5時時点)」、4月18日	主力工場である合志事業所につきましては、 建物の外観上、大きな損傷は見られません 。	
					東京エレクトロン:「熊本県で発生した地震への対応について(第一報)」4月14日～(第五報)4月16日	※ 内容略	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
15	製造 (電機・機械関係)	HOYA	熊本県大津町(工場)		日本経済新聞 朝刊 2016年6月21日		HOYAは20日、熊本地震で大きな被害を受けた熊本工場(熊本県大津町)を閉鎖すると発表した。液晶パネルに回路パターンを焼き付けるためのフォトマスクを主に生産していたが、台湾・韓国の生産拠点に移す。熊本工場は技術開発拠点として2017年3月をめどに再稼働させる。同工場の従業員約140人の処遇については、希望退職や他の生産拠点への転属なども含め、今後決める。熊本工場は4月16日未明の地震の後、非常灯からの漏電で火災が発生。煙などにより、クリーンルームや精密機械が被害にあった。生産設備の復旧が難しく、生産再開を目指すべきか検討を進めていた。液晶パネル用のフォトマスクは韓国・台湾で生産しており、海外での生産に切り替える。熊本工場では半導体用のフォトマスクも作っていたが、これは八王子の工場の増産で対応する。
					HOYA:「平成28年熊本地震による影響に関するお知らせ(続報)」、6月20日		マスク事業部熊本工場においては、4月14日以降の地震の影響、ならびに16日未明の本震後に発生した火災により、クリーンルームや精密機器などの生産設備が甚大な被害を受けました。工場の復旧に向けて検討を進めてまいりましたが、生産設備への被害が予想以上に大きいことから、事業の生産体制を一から見直し、再編することが必要と判断いたしました。その結果、 熊本工場は今後、液晶パネル用フォトマスクの技術開発における主要拠点として位置付け、平成29年3月をめどに再建していくことを決定いたしました。 また、熊本工場における 液晶パネル用フォトマスクの生産業務については台湾、韓国の拠点へ業務移管 を行ってまいります。
					日本経済新聞 朝刊 2016年4月19日3:30		液晶パネルなどに欠かせない回路基板(フォトマスク)を手掛けるHOYAの 熊本工場 (熊本県大津町)は16日未明の地震で火災が発生した。「 操業停止が1カ月及以上可能性がある 」として、韓国や台湾の自社工場での代替生産の準備を進める。
					HOYA:「平成28年熊本地震による影響について」、4月18日	・マスク事業部 熊本工場(液晶パネル製造用大型マスクおよび半導体製造用マスク製造) 建屋への影響は少ないものの、設備、装置等が被害を受けたため、 15日より工場の操業を停止 しております。また 16日未明の本震後、工場内において火災が発生 しましたが、 同日中に完全に鎮火 しました。	営業活動等に及ぼす影響を最小限に抑えるため、 一部の液晶パネル用大型マスクについては台湾、韓国の拠点へ、また半導体用マスクについては八王子工場への振替製造 を行ってまいります。
16	製造 (電機・機械関係)	ローツェ	熊本県合志市		ローツェ:熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ(第3報)、6月15日		1. 九州工場の製造業務再開について 当社九州工場(熊本県合志市)は、建物等の応急工事を完了し、本日 6月15日よりクリーンルーム一部エリアにおいて製造業務を再開 いたしました。これにより、九州工場における製造、開発及び保守・点検・修理等のサービス業務のすべてを再開しております。 2. 地震に伴う当社業績への影響について 九州工場の建物天井及び壁面の崩落箇所等の修繕等の復旧工事を今後行う予定ですが、生産能力等に影響を与えるものではありません。また、復旧工事費用などが当期の業績に与える影響につきましては現在精査中です。今回の地震により、当社グループの業績に重大な影響が見込まれる場合は、速やかに開示いたします。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
16	製造 (電機・機械関係)	ローツェ	熊本県合志市		ローツェ:熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ(第2報)、4月18日	1. 被災の状況について 2016年4月14日に発生しました「前震」による被災状況は2016年4月15日「熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ」のとおりに建物や設備の一部に破損箇所が見られたものの影響は限定的なものでありました。しかしながら、2016年4月15日未明に発生しました「本震」及び頻発しております余震により工場の天井や壁面の一部が崩落するなどの被害が発生しており、安全が確認できるまで九州工場での業務を一部停止いたします。	(1)製造、開発業務 本社・本社工場(広島県福山市)で代替生産、開発を行う予定であります。 (2)保守・点検・修理業務 通常通り行います。なお、お問い合わせ窓口は本社製造部サービス課(TEL:084-960-0113)となります。ご心配やご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。 2. 業績への影響について 今回の地震により当社グループの業績に重大な影響が見込まれる場合は、速やかに開示いたします。
					ローツェ:熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ、4月15日	当社九州工場(熊本県合志市)における当該地震の被害状況を確認しましたが、現時点において、当社従業員の人的被害はありません。また、建物や設備の一部破損箇所はございますが、被害は限られたものととどまっております。	
17	製造 (その他)	サントリーホールディングス	熊本県嘉島町(工場)		サントリー:「サントリー九州熊本工場『ザ・プレミアム・モルツ』缶出荷再開」、2017年1月31日		サントリービール(株)は、平成28年(2016年)熊本地震により被災したサントリー九州熊本工場(工場長:橋本猛)での「 ザ・プレミアム・モルツ 」缶の出荷を 1月31日(火)から再開します。 同工場は、2016年11月8日に「ザ・プレミアム・モルツ」の仕込を再開し、12月13日に樽生の出荷を再開しましたが、このたび缶の出荷を再開する運びとなりました。今後は、「金麦」「オールフリー」ブランドなどの仕込・出荷も順次再開していく予定です。 (略)
					サントリー:「サントリー九州熊本工場『ザ・プレミアム・モルツ』樽生出荷再開」、12月13日		サントリービール(株)は、平成28年(2016年)熊本地震により被災したサントリー九州熊本工場(工場長:橋本猛)での「 ザ・プレミアム・モルツ 」樽生の出荷を 12月13日(火)から再開します。 同工場は、11月8日に「ザ・プレミアム・モルツ」の仕込を再開しましたが、このたび同樽生の出荷を再開する運びとなりました。 ビール類缶商品については、2017年1月以降「ザ・プレミアム・モルツ」の出荷を再開し、「金麦」「オールフリー」ブランドなども順次出荷を再開していく予定です。清涼飲料缶商品については2017年3月に、清涼飲料ペットボトル商品については2017年5月に製造開始を目指します。
					サントリー:「サントリー九州熊本工場『ザ・プレミアム・モルツ』仕込み再開—12月中旬に同樽生を出荷再開予定—」、11月8日		サントリービール(株)は、平成28年(2016年)熊本地震により被災したサントリー九州熊本工場(工場長:橋本猛)での「 ザ・プレミアム・モルツ 」の仕込を 11月8日(火)から再開します。 (中略)同工場で製造した「ザ・プレミアム・モルツ」は、12月中旬に樽生商品として出荷を再開する予定です。ビール類缶商品についても、2017年1月以降「ザ・プレミアム・モルツ」の出荷を再開し、「金麦」「オールフリー」ブランドなども順次出荷を再開していく予定です。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
17	製造 (その他)	サントリー ホールディ ングス	熊本県嘉 島町(工 場)		サントリー:「サントリー九州 熊本工場の復旧に向けた 取り組みについて」、8月4 日		サントリーグループは、平成28年(2016年)熊本地震により被災したサントリー九州熊本工場(工場長:橋本猛)の 復旧に向けて、スケジュールの概略を策定しました 。4月の震災以降、同工場では従業員および協力会社の方々が一丸となって、安全を期しながら瓦礫の撤去作業や設備の点検、復旧に向けた調査を行い、このたびは操業再開に向けた復旧計画を策定しました。既に 工場内の配送センターが、6月上旬に復旧 し、九州エリア内の通常出荷が可能となっています。現在、破損した建物や設備の修復工事を進めており、復旧に向けた取り組みを本格化させています。今後は、まず 樽生ラインの復旧に向け、11月の仕込開始を目指します。12月には「ザ・プレミアム・モルツ」樽生を料飲店様にお届けできる見通し です。さらに、 2017年1月にはビール類缶ラインの復旧を目指します 。なお、「サントリー 阿蘇の天然水」などの清涼飲料の製造、および工場見学などについては、来春以降の再開となる見込みです。
					サントリー:「平成28年熊本地震に伴う九州エリアにおける酒類の出荷再開について」、5月13日	サントリー九州熊本工場では、 一部設備に損壊等があり操業停止 が続いています。現在、工場施設・設備の点検調査を進めています。	九州エリアへの輸送手段が十分に確保できなくなり、同エリアにおいて、4月下旬から「金麦」シリーズ(缶)、「ザ・モルツ」(缶)などサントリービール(株)一部商品およびサントリースピリッツ(株)一部商品の出荷を見合わせていました。この度、同エリアへの輸送能力増強を図り、 5月18日(水)から出荷を再開 します。
					サントリー:「平成28年熊本地震に伴う九州エリアにおける酒類の出荷について」、4月22日	サントリー九州 熊本工場および近隣の配送センターは、一部設備に損壊があり操業停止 が続いています。	九州外から九州エリアへの輸送量の急激な増加により、配送手段が十分に確保できない事態となっているため、九州エリアにおいて 4月下旬から、一部商品の出荷を一時的に見合わせざるを得ない状況 となりました。現在九州熊本工場以外の3ビール工場では、増産体制を取っており、既に全国の需要に対する供給量を確保しています。
					サントリー:「平成28年熊本地震への義捐金の拠出と救援物資の供出について」、4月18日	ビール類、清涼飲料を製造しているサントリー九州熊本工場(熊本県上益城郡嘉島町)は、現在、 操業を停止 しています。	余震の影響もあり、操業再開までは、しばらく時間がかかる見込みです。このため、当社製品の供給においては、当面は出荷遅延等の影響が予想されますが、今後の安定供給を図るため、 既に他工場での増産体制に入っています 。
18	製造 (その他)	再春館製薬 所	熊本県益 城町		再春館製薬所Facebookより(4月27日)	再春館製薬所のつむぎ商館も、熊本地震により、機材等が倒れ、一部ですが壁や天井にも亀裂が入ってしまいました。	社員が安心して働くことができるように、 営業を一部のスペースで再開 すると同時に、今もその横では、壊れたところを直しつつ、安全性を強化するための工事を続けています。
					再春館製薬所Facebookより(4月26日)		ドモホルンリンクルの生産を開始 しました。被災した工場の主要なラインが復旧し、ドモホルンリンクルの生産もスタートしております。ドモホルンリンクルをつくることのできるのは、ここ再春館ヒルトップだけです。
					ニュースイッチ 2016年4月17日15時45分更新【熊本地震・企業動静】	17日もコールセンター社員の出社を引き続き停止した。通常であれば年中無休で運営している 通信販売の注文受け付けは、15日午後から停止 した。交通状況の混乱などで商品の配送にも遅れが出ている。生産設備も損傷し工場も稼働を停止しており、再開の見通しは立っていない。	

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
19	製造 (その他)	富士精工	熊本県大津町		富士精工：熊本地震による影響に関するお知らせ(第4報)、7月13日	2. 業績に与える影響について 上記のとおり、復旧作業は継続しておりますが、本日平成28年7月13日付公表の「平成29年2月期 第1四半期決算短信」において、 特別損失として「災害による損失」1億7百万円を計上しております。 なお、今後の状況の変化により、業績に著しい影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。	1. 熊本工場の復旧状況について 平成28年5月23日付公表のとおり第一工場および第三工場は通常稼働をいたしております。 第二工場 につきましては、損傷の大きかった建屋2階部分の壁の修復作業を6月中旬から開始しており、 7月末には作業完了の予定 となっております。また、1階立ち入り制限区域を解除して機械設備の復旧作業にとりかかっております。
					富士精工：熊本地震による影響に関するお知らせ(第3報)、5月23日		1. 熊本工場の復旧状況について ①第一工場 ・ホルダーの生産工場である第一工場につきましては、機械設備の復旧が完了し、 通常生産を行っております。 ②第二工場 ・ホルダーの生産工場である第二工場につきましては、損傷の大きかった建屋2階部分の壁の修復工事を6月初めより開始する予定です。本修理の完了および1階立ち入り制限区域の解除につきましては、 7月上旬を見込んでおります。 ・1階立ち入り制限区域内の機械設備につきましては、その大半を同工場内の安全区域や第一工場へと移動、復旧作業を行い、稼働を再開させております。なお、同区域内に残された一部の機械設備につきましては、制限が解除された後、速やかに復旧作業に着手する予定です(完了期日は未定)。 ③第三工場 ・切削工具(チップ、ドリル、ダイヤモンド工具)の生産工場である第三工場につきましては、機械設備の復旧が完了し、 通常生産を行っております。 2. バックアップ生産の状況について 地震発生時に熊本工場で仕掛けておりました製品につきまして、当社グループをあげたバックアップ生産をここまで行ってまいりましたが、熊本工場の復旧状況に鑑み、 5月末をめぐりに完了する予定 です。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
19	製造 (その他)	富士精工	熊本県大津町		富士精工：熊本地震による影響に関するお知らせ(続報)、5月6日		熊本工場の復旧状況について ①ホルダー関係 ・ホルダー生産工場のうち、第一工場につきましては、建屋の補強工事が完了したことを受けて、4月下旬より機械設備の復旧を進めてまいりました。本日現在、生産を再開しております。 ・ホルダー生産工場のうち、第二工場につきましても補強工事を行っておりますが、建屋2階部分の壁の損傷が大きかったため、この修復作業が完了するまでの間、工場の一部区域につきましては、立ち入りを禁止しております。ただし、安全が確認された区域につきましては、4月下旬より機械設備の復旧を進めてきており、本日現在、生産を一部再開しております。 ②切削工具関係 ・切削工具生産工場である、第三工場につきましては、建屋補強工事が完了したことを受けて、4月下旬より機械設備の復旧を進めてまいりました。 ・切削工具のうち、チップ、ドリルにつきましては、全工程にわたる機械設備が復旧したこととともない、生産を再開しております。 ・消耗工具のうち、ダイヤモンド工具につきましては、現在、機械設備の復旧を継続中です(生産再開の時期は未定)。 製品生産の状況について 左記のとおり、設備復旧にともない、熊本工場においては段階的に生産を再開しておりますが、完全復旧のめどがつかまでの間、当社グループをあげたバックアップ生産を継続いたします。 ・ホルダー：本社工場、鹿児島工場、中国及び韓国の子会社にてバックアップ生産 ・切削工具：本社工場、インドネシア等の子会社にてバックアップ生産
					富士精工：熊本県熊本地方において発生した地震の影響に関するお知らせ、4月18日	・工場の被害状況について 工場の物的被害については、建物の外壁の亀裂や内部の破損等の被害が発生しており、立ち入りを制限しております。また、製造設備においても機械が転倒するなどの被害が発生しております。詳細については現在確認作業中であります。	・工場の操業状況と製品供給について 当社熊本工場は現在稼働を停止しており、生産再開は現時点では未定であります。熊本工場で生産するホルダーや切削工具は本社工場、鹿児島工場及び海外グループ会社工場への生産振替などを行うことで対応してまいります。
20	製造 (その他)	堀場製作所	熊本県西原村(工場)		堀場製作所：阿蘇工場の増設に関する立地協定を西原村と締結、7月30日		<熊本県へ進出以来 最大の建設規模> 当社グループ会社の堀場エステック(社長：小石秀之、本社：京都市)は、主力製品の半導体製造装置用のガス・液体制御機器(マスフローコントローラー)や、堀場製作所の血液検査装置などの医用分野製品を生産する阿蘇工場(熊本県西原村)の拡張を決定しました。1988年の熊本県への進出以来5回目となる今回の建設は、過去最大規模の増床(約7,000平方メートル)となります。2016年12月に着工し、2017年夏に竣工予定です。 28年前の1988年に進出して以来、地元会社として根付き、熊本県の皆様に支えられて成長してきた熊本県西原村において、さらなる増設を決定しました。2016年7月30日、増設に関する立地協定を、熊本県 蒲島郁夫知事立会いのもと、西原村 日置和彦村長と当社社長 堀場厚が、熊本県庁において立地協定の調印を取り交わし、締結いたしました。なお、本協定締結は、熊本地震発生後、第1号の協定締結公表となります。 (以下略)

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
20	製造 (その他)	堀場製作所	熊本県西 原村(工場)		堀場製作所:堀場エステック阿蘇工場(熊本県)再開状況のご案内、4月29日		熊本県西原村に所在する子会社 株式会社堀場エステック阿蘇工場におきましては、医用関連の血液検査装置やその検査試薬などについては、4月25日(月)に生産を一部再開しております。また、半導体分野製品のマスフローコントローラーなどにつきましては、4月26日(火)より段階的に生産再開をはじめております。以下は、4月28日(木)現在の当工場の外観および建物内部の写真です。(写真略)
					堀場製作所:熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ(第4報)、4月25日		<工場の被害状況> 工場設備については、高圧受電設備が破損していましたが、代替方法により復電いたしました。その他の設備については被害状況を引き続き確認するとともに、確認できた設備については再稼働に向けて調整中です。 <工場の操業状況> 医用関連の血液検査装置やその検査試薬などについては、4月25日(月)に生産を一部再開いたしました。マスフローコントローラーなどの製品につきましては、4月26日(火)から段階的に生産再開予定です。 <当社製品の供給> 医用関連の血液検査装置やその検査試薬などについては、国内在庫及び海外グループ会社からの調達などにより遅滞なく供給できる見通しです。またマスフローコントローラーや他の製品についても、阿蘇工場での生産復旧を進めると同時に京都本社への生産振り替えなどにより対応していきます。
					堀場製作所:熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ(第3報)、4月22日		1. 地震による被害及び現時点での状況等 (1) 人的被害について 当社グループの従業員への人的被害はございません。 (2) 生産拠点等の状況について <工場の被害状況> 工場設備については、高圧受電設備が破損していましたが、代替方法により復電予定です。その他の設備については被害状況を引き続き確認するとともに、確認できた設備については再稼働に向けて調整中です。 <工場の操業状況> 医用関連の血液検査装置やその検査試薬などについては、4月25日(月)に生産を一部再開する予定です。マスフローコントローラーなどの生産再開については4月25日(月)の週から段階的に生産を開始し、詳細を4月25日(月)に発表予定です。 <当社製品の供給> 株式会社堀場エステック阿蘇工場では、半導体関連のマスフローコントローラーのほか、株式会社堀場製作所が販売する医用関連の血液検査装置やその検査試薬などを製造しています。このうち検査試薬につきましては、他地域にある流通在庫等を振り向けること及び既に海外のグループ会社から検査試薬が京都本社に到着していることから遅滞なく供給できる見通しです。一方、マスフローコントローラーや他の製品につきましては、阿蘇工場での生産復旧を進めると同時に、京都本社への生産振り替えなどにより対応していきます。

No	業種	企業等	被災地域	影響地域	出典	被害	他社への影響・対応・今後の見通し
20	製造 (その他)	堀場製作所	熊本県西 原村(工場)		堀場製作所:熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ(第2報)、4月18日	工場の被害状況は、4月16日(土)の地震により、以下の損害を追加で確認しました。工場設備については、高圧受電設備が破損し、工場施設および生産設備に通電できない状況にあります。その他の設備については、被害状況を確認中です。工場の建物については、内部の壁や天井の一部が落下したり、一部の棚から備品等が落下・破損するなどしましたが、建物の損傷・被害は限られたものとどまっています。	株式会社堀場エステック阿蘇工場と株式会社堀場テクノサービス熊本サービスステーションは、自宅や親族が被災した従業員に配慮し、4月15日(金)は臨時休業しました。本日4月18日(月)より、一部従業員が工場に出勤し、設備の点検や復旧作業に当たる予定です。当社製品の生産再開は現時点では未定ですが、可能な限り早く再開できるよう努力を続け、時期が判明し次第改めてお知らせします。
					堀場製作所:熊本県熊本地方で発生した地震の影響に関するお知らせ、4月15日	1. 地震による被害の有無 (1)人的被害について 当社グループの従業員への人的被害はございません。 (2)生産拠点等の状況について 熊本県西原村にグループ会社・株式会社堀場エステック尾曾工場および株式会社堀場テクノサービス熊本サービスステーションがありますが、いずれも4月15日(金)は臨時休業いたします。工場の建物については、壁の一部にひびが入るなどしていますが、被害は限られたものとどまっています。工場設備や工場周辺の詳細な被害状況については現在確認中です。	2. 業績への影響について このたびの地震による業績への影響につきましては、現在のところ不明ですが、重大な影響が見込まれる場合には、速やかにお知らせいたします。
					京都新聞オンライン【2016年4月15日】	同社は計測機器大手であり、益城町の東隣の西原村に設けている。総務部門が中心となって情報収集し、従業員約400人と工場設備の無事を確認した。従業員の家や交通機関などへの影響を考慮し、15日は工場を臨時休業することを決めた。	